

第7期計画策定の重点課題について

《第6期計画を振り返って》

- 第6期計画では、住み慣れた地域で高齢者が自立した生活が送れるよう、『あんしんケアセンター』を中心とした、千葉市地域包括ケアシステムを構築するための「あんしんケアセンターの増設」、「在宅医療・介護連携のための資源調査」、「認知症施策の推進」、「生活支援体制づくり」、「介護施設等の整備」などの基盤整備を進めてきたところである。
- 健康づくりや介護予防、生きがいつくりのための各種事業を実施し、高齢者ができるだけ長く元気でいただくための取組みを行ってきた。
- 少子高齢化のさらなる進展に備え、地域で支え合う体制づくりに取り組んできた。

しかし…



介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の調査結果（回答者 5377 人）では、

- ・日頃から意識的に介護予防に取り組んでいる方は 31.6%
 - ・地域の仲間で行う 30 分から 1 時間程度の体操に「すでに参加している方」が 9.1%、「参加したくない」が 28.0%
 - ・地域での活動に参加している頻度として、「ボランティアのグループ」に月 1 回以上参加している方が 8.7%、「町内会・自治会」に月 1 回以上参加している方が 9.4%
- という結果となり、介護予防や地域づくりに課題がある。

《第7期計画の重点課題について》

介護保険法の一部改正に伴う第7期基本方針による重点課題

1. 地域包括ケアシステムの深化・推進
 - 高齢者の自立支援・重度化防止に向けた保険者機能の強化の推進
 - 「我が事・丸ごと」、地域共生社会の構築
2. 介護保険制度の持続可能性の確保

今期計画では、

- すべての高齢者が健康寿命の延伸・介護予防を意識し、日々取り組んでいただくため、有効な取組みを検討し、実施する。
- 介護人材の確保が困難な中で、地域での住民による支え合い体制づくりが重要であることから、地域づくりや活動団体の育成・継続のために必要な取組みを検討・実施する。
⇒それぞれの委員の皆様の立場から、今後の事業展開への助言・ご意見をいただきたい。